

平成 16 年度 病害虫発生予察情報 注意報 第 4 号

病害虫名： トマト黄化えそウイルス（TSWV）による病害

対象作物： 花卉類

1． 注意報の内容

- (1) 対象地域 都内全域
- (2) 発生量 多
- (3) 発生時期 秋季～翌春

2． 注意報発令の根拠

- (1) トマト黄化えそウイルス（TSWV）は、すでに1997年（平成9年）10月以降に北多摩地域のダリア、シネラリア、トマト、ピーマンなどから検出されており、都下における本ウイルスの発生が確認されていた。
- (2) 2004年（平成16年）6月下旬以降、花卉農家等を対象にウイルス病の発生状況調査を行ったところ、北多摩地域の切り花施設栽培で本ウイルスによるトルコギキョウ黄化えそ病の多発を認めた（本病は平成16年度病害虫発生予察特殊報第3号で発表、東京都初確認）。また同地域の露地圃場2カ所で切り花用ダリアに輪紋病、他の施設でガーベラえそ輪紋病、さらに南多摩地域の鉢花栽培施設でニチニチソウ黄化えそ病、区部の鉢花栽培施設でインパチエンス黄化えそ病の発生（本病は東京都初確認）をそれぞれ確認し、TSWVによる花卉類ウイルス病の発生が都下のほぼ全域に拡大していることが明らかとなった。
- (3) TSWV を媒介するアザミウマ類（ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマ、ネギアザミウマ等）は都下全域に広く分布しており、施設では秋季以降もこれらアザミウマ類の発生が継続する。
- (4) 今後気温の低下に伴い、無病徴感染株の発病や二次伝染などによる病害の発生や被害の拡大が懸念される。

3． 防除対策

- (1) 本ウイルスの媒介虫であるミカンキイロアザミウマなどアザミウマ類の防除を徹底する（参考を参照）。
- (2) アザミウマ類は薬剤防除のほかに以下の耕種的防除も併せて行う。
 - 施設の入出口やハウスサイドなどの開口部には防虫ネット（1mm目未満、0.6mm目以下が望ましい）を張って成虫の侵入を防ぐ。
 - 施設内外の除草を徹底し、伝染源を除去する。また生産と直接関係ない植物の栽

培は極力控え、施設や圃場内に持ち込まないようにする（表1を参照）。

施設内に予察的に黄色粘着テープを吊し、虫の付着具合を常時確認し、害虫の発生量などを把握する。

- (3) 発病株は二次伝染源となるので、発見しだい速やかに抜き取り、埋設または袋に密封し処分する。
- (4) 本ウイルスは宿主範囲が広いので、抑制栽培トマトなどでの発生にも注意する。
- (5) 本ウイルスは感染していても、植物の種類や環境条件等により、外見上健全であったり、明瞭な病徴を示さないことがある。この場合、本圃への定植後や出荷流通後に発症することがあるので、育苗時の防除を徹底するとともに、外部から施設や圃場へ植物を持ち込む際、十分な観察を行い、特にアザミウマ類の寄生や吸汁痕の有無に注意する。

* アザミウマ類の寄生や吸汁痕が認められ、疑わしい症状が発症している場合には、病害虫防除所、各農業改良普及センターにご連絡ください。

表1 TSWVによる病害および感染が確認されている主要農作物や野生植物

科名	農作物および野生植物名
アカザ科	ハウレンソウ、シロザ
イワタバコ科	グロキシニア
キク科	アスター、ガーベラ、キク、ダリア、シネンジャー、ヒャクニチソウ、マリーゴールド、ウラジロチチコグサ、オニノゲシ、オニタビラコ、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ、タンポポ、チチコグサモドキ、ハルジオン、ヒメジョオン、ヨモギ
キョウチクトウ科	ニチニチソウ
キンポウゲ科	クリスマスローズ
クマツヅラ科	バーベナ
サクラソウ科	シクラメン
タデ科	ギシギシ
ツリフネソウ科	インパチエンス、ニューギニアインパチエンス
ナス科	タバコ、トウガラシ、トマト、ナス、ピーマン、ペチュニア、イヌホオズキ
ナデシコ科	ハコベ
ノウゼンハレン科	ナスタチューム
ヒユ科	センニチコウ
マメ科	シロツメクサ
ユリ(アルストロメリア)科	アルストロメリア

注) 日本有用植物病名目録、各県特殊報などより抜粋。

参考：ミカンキイロアザミウマ（アザミウマ類）に登録がある農薬
（凡例：商品名 系統 使用時期 / 回数 希釈倍数など）

花卉（草本植物）観葉植物（作物群登録，アザミウマ類）

オルトラン水和剤	有機リン	発生初期 / 5回	1,000 ~ 1,500倍
オルトラン粒剤	有機リン	発生初期 / 5回	3 ~ 6kg / 10 a
マラソン乳剤	有機リン	発生初期 / 6回	2,000 ~ 3,000倍

ガーベラ（ミカンキイロアザミウマ）

カスケード乳剤	I G R	- / 3回	2,000倍
モスピラン水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 5回	2,000倍
パダン S G 水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 4回	1,500倍
エンセダン乳剤	有機リン	- / 6回	1,000倍
トクチオン乳剤	有機リン	発生初期 / 5回	1,000倍

キク（アザミウマ類）

ダントツ水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 4回	2,000倍
ダントツ粒剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 4回	2g / 株
モスピラン粒剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 1回	1g / 株
ハチハチ乳剤	他	発生初期 / 4回	1,000倍

キク（ミカンキイロアザミウマ）

カスケード乳剤	I G R	- / 3回	2,000倍
マッチ乳剤	I G R	発生初期 / 5回	1,000倍
アーデント水和剤	合ピレ	発生初期 / 5回	1,000倍
アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 5回	1,000倍
ベストガード水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 4回	1,000倍
ベストガード粒剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 4回	2g / 株
モスピラン水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 5回	2,000倍
ボルテージ乳剤	有機リン	- / 6回	1,500倍
アフアーム乳剤	他	発生初期 / 5回	1,000 ~ 2,000倍
コテツフロアブル	他	発生初期 / 2回	2,000倍

シクラメン（ミカンキイロアザミウマ）

エビセクト水和剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 5回	1,000倍
パダン S G 水溶剤	ネオニコチノイド	発生初期 / 5回	1,500倍

トルコギキョウ（アザミウマ類）

スカウトフロアブル	合ピレ	- / 5回	2,000倍
ペイオフ ME 液剤	合ピレ	発生初期 / 3回	2,000倍
マブリック水和剤 20	合ピレ	- / 2回	4,000倍

* 薬剤散布の際は，ラベルの記載事項をよく読むようにしてください。

.....

防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

テレフォンサービス 042 (525) 8407

今後の予察情報にご注意下さい。

E-mailアドレス S0200303@section.metro.tokyo.jp